

# 人権教育だより

栃木県教育委員会事務局教育政策課人権教育室

## 『人権教育の授業の実践』の御紹介

栃木県教育委員会では、すべての学校すべての地域において計画的に人権教育が推進されるよう、人権教育の研究指定や人権教育指導者専門研修等を通じて、人権教育に関する指導方法の改善・充実を図っています。今回は、これまでの研究校や指導者専門研修終了者が在籍する各地区の中核的な人権教育推進校における今年度の先進的な取組について御紹介いたします。

特に、県教育委員会が作成し、活用を推奨しているデジタル教材「人権の窓」を積極的に活用した実践が多数ありますので、教材のテーマである「部落差別（同和問題）」、「男女共同参画」や「外国人との共生」に関連した授業において参考にしてください。

### 実践例1

教科：社会科

テーマ：部落差別（同和問題）

※5回に渡って部落差別（同和問題）に関する内容を取り上げる。

	単元名	取り上げる内容
①	今に伝わる室町文化 （庭造りや芸能）	庭造りや能楽では、身分のうえで差別された人々が活躍した。
②	江戸幕府と政治の安定 （江戸の身分制）	江戸の身分制により、百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた身分の人々がいた。
③	町人の文化と新しい学問 （蘭学）	★ <b>小山市立小山城北小学校の指導事例参照</b>
④	町人の文化と新しい学問 （渋染一揆）	岡山藩で出された儉約令において、差別されてきた人々には、百姓や町人よりもさらに厳しい命令が出された。
⑤	世界に歩み出した日本 （全国水平社）	全国水平社が創立され、差別をなくす運動に多くの人々が立ち上がった。

学校が人権教育全体計画において定めた「育てたい資質・能力」（5つの項目）のうち、**何を育成するか**を授業者がしっかりもつことが大切です。そして、このような内容を本来の授業の一部として取り上げ、「直接的指導」を実践することで、差別解消を図る資質・能力の育成につながります。



## 実践例1 小山市立小山城北小学校

教科・科目等 社会科（6学年 25名）

### 本時の目標

杉田玄白、伊能忠敬らの活躍を手掛かりに、蘭学が社会に与えた影響について理解することができる。

### 育てたい資質・能力等

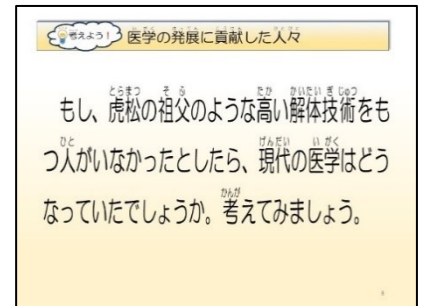
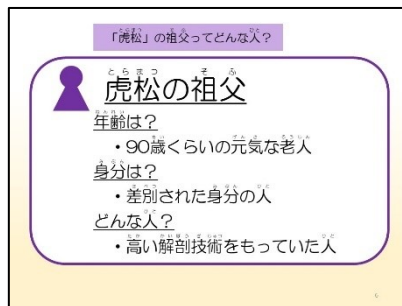
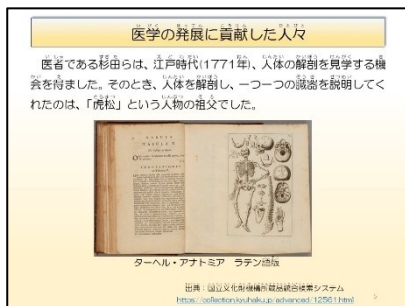
差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことについて、理解することができる。（知性）

### 教材 教科書

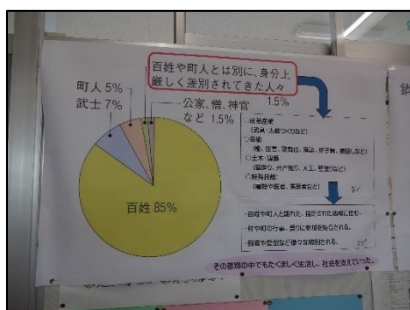
人権の窓（部落差別（同和問題）医学の発展に貢献した人々）を活用した提示資料

### 展開

- 中国から伝わった解剖図と「解体新書」の解剖図を見比べる。
- 「解体新書」の解剖図がいかに正確なものだったかを理解し、蘭学を学ぶことで社会にどのような影響を与えたのかを意識する。
- 解剖をして内臓を説明した人は、身分制のもとで厳しく差別されていた人だったことを伝え、高い技術をもつ人がいなかった場合現代の医学はどうなっていたかを考える。



- 差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことを理解する。



教室掲示



学習の様子



板書

- 伊能忠敬が作った日本地図と当時使われていた地図を見比べ、地図を作るための道具や伊能忠敬の功績について知る。
- 学習の振り返りをする。

## 実践例2 さくら市立喜連川中学校

教科・科目等 道徳科（3学年 33名）

### 本時の目標

世界の子どもの実態を知り、世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考えることができる。

### 育てたい資質・能力等

世界には満足に生活できなかったり、教育を受けられなかったりするような子どもたちがいることを理解し、その苦労や痛みを感じ取ることができる。（感受性）

### 教材

- 教科書（新しい道徳 3年）「その子の世界、私の世界」
- 人権の窓（子どもの権利）

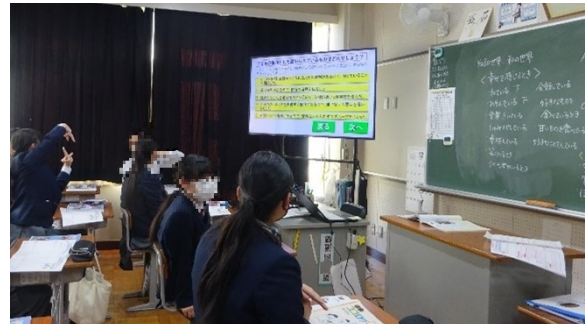
### 展開

- 世界で起こっている問題と自分が幸せなときについてペアで話し合う。
- タブレットを使って、カカオ農園で働く子どもたちの動画を見る。
- カカオ農園で働く子どもたちが一番に望んでいることや、うれしい瞬間について考える。
- 「人権の窓」で「子どもの権利」について確認する。

**「子どもの権利条約」4つの権利** それぞれの枠をクリックすると詳しい説明ができます。

<b>生きる権利</b> <ul style="list-style-type: none"><li>すべての子どもの命が守られること</li><li>防ぐことのできる病気で命を奪われないこと</li><li>病気やケガをしたら治療を受けられること</li></ul>	<b>育つ権利</b> <ul style="list-style-type: none"><li>教育を受け、休んだり遊んだりできること</li><li>考えや信じるものの自由が守られ、自分らしく育つことができること</li></ul>
<b>守られる権利</b> <ul style="list-style-type: none"><li>暴力をふるわれないこと</li><li>いじめられたり、差別されたりしないこと</li><li>むりやり動かされたりしないこと</li></ul>	<b>参加する権利</b> <ul style="list-style-type: none"><li>自分に関係することに意見を言うこと</li><li>伝えた意見が大切にされること</li><li>集まってグループ（団体）をつくり、自由な活動すること</li></ul>

戻る 次へ



- 世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考える。



学習の様子

### 授業者の感想

- 初めは、自分たちとは違い大変そうだと感じていた生徒がいたが、自分たちと同じように幸せな瞬間があったり、うれしい瞬間があったりすることに気付いた様子が見られた。

### 実践例3 県立那須特別支援学校

教科・科目等 総合的な探究の時間（高等部1・2学年 3名）

#### 本時の目標

世界の国々の言葉や文化にふれることができる。

#### 育てたい資質・能力等

世界にはいろいろな人がいることに気付くことができる。（知性）

#### 教材

- ・タブレット端末
- ・各国の紹介資料（写真、国旗、挨拶、食べ物など）
- ・各国の人のお面
- ・世界の言葉の音声や動画
- ・給食の写真
- ・ワークシート「世界の友達」「旅の記録」・人権の窓（子どもの権利）

#### 展開

- 教師がお面を付けて国ごとのキャラクターに扮し、写真や動画を見せながら紹介をする。
- 世界の友達紹介 ジョンさん（アメリカ） ミナさん（韓国） マリアさん（メキシコ）
- ワークシート「世界の友達」に顔写真を貼り付け、名前と国名を記入する。
- 各国の挨拶の仕方を模倣する。発声が難しい生徒は、音声ボタンを使用したり教師と一緒に身振りで表現したりする。
- 世界の給食文化について知る。
- 好きな色や食べ物などについて考え、各国の文化に対してお互いの違う所や同じ所を知り、共通点や多様性、個々の違いの良さについて理解を深める。



←学習の様子

#### 授業者の感想

- ・各国の挨拶では様々な言葉があることを知り、難しい発音に挑戦したり、発語が難しい生徒は教師の挨拶に合わせてお辞儀したりする様子が見られた。
- ・教室で給食を食べているため、国によって食事場所や食事形態、メニューが異なることがとても新鮮な様子であった。

## 実践例4 市貝町立市貝小学校

教科・科目等 道徳科（1学年 20名）

### 本時の目標

自分のよいところ、好きなものがあるように、人それぞれよいところや好きなものが違うことを知り、「自分らしさ」を大切にすることができる。

### 育てたい資質・能力等

お互いによいところを伝え合うことができる。（技能）

教材 ・教科書

### 展開

- 教科書を読み、登場人物のよいところ、苦手なところを確かめる。
- 自分の長所や短所を見付ける。
- 人権週間に実施している「たいせつなあなた」を活用する。ペアになった相手のよいところを見付け、記入する。
- ペアでよいところを伝え合い、どう思ったかを発表する。
- 本時の振り返りを行い、一人一人のよさや違いに気付けるようにする。



←作成した掲示物

### 授業者の感想

- ・自分のよいところを見付けて書くことが苦手な児童が多くいるので、担任のよいところや自分のよいところを発表し合い、それを参考に記入することで取り組むことができていた。
- ・相手のよいところに気付くよい機会となった。

## 実践例5 県立富屋特別支援学校

教科・科目等 自立活動（小学部4学年 11名）

### 本時の目標

自分が好きな色のカードを選んだり、友達が好きな色を知ったりすることができる。

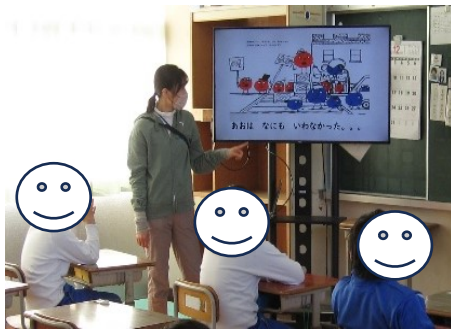
### 育てたい資質・能力等

互いに違いがあることを知り、認め合うことの大切さが分かる。（知性）

教材 ・絵本「まざっちゃおう！」 ・セロファン色カード（赤・黄・青）  
・タブレットPC ・テレビ

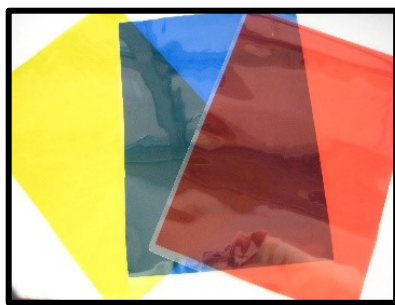
### 展開

- 3色（赤・黄・青）のカードを見て、何色が答える。
- 絵本「まざっちゃおう！」の読み聞かせを聞く。



←絵本の読み聞かせの様子

- 絵本の読み聞かせを行った後、セロファンの色カードから好きな色を選ぶ。



セロファンの色カード



学習の様子

- 教師の言葉かけを受けて、それぞれ色の好みが違うことを知る。
- 友達が選んだ色カードと重ね合わせて、新たな色ができる様子を見る。
- 絵本の内容を振り返り、「違う色もいいな。」と互いの好きな色を認め合ったことを確認する。
- 学級内でも「互いに好きな物が違う」ということを伝え、互いの違いも「いいね。」と感じられると良いことを知る。

## 実践例6 県立岡本特別支援学校

教科・科目等 自立活動（小学部2学年1名、6学年1名）

### 本時の目標

表情に注目して気持ちを考えることができる。

### 育てたい資質・能力等

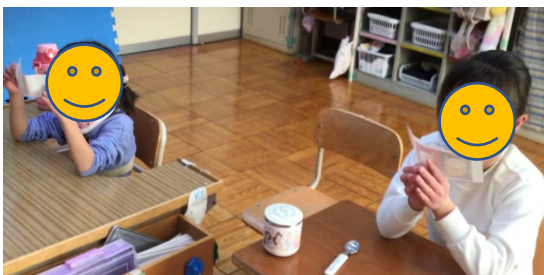
相手の笑顔を見て、うれしい気持ちになっていることに気付くことができる。（感受性）

### 教材

- ・教科書（こくご☆☆） P20、21
- ・表情のイラスト（うれしい顔・怒った顔・泣いた顔）
- ・優しくされた場面、好きな気持ちを伝えられた場面のイラスト

### 展開

- 本時の学習内容を知る。
- 「表情のイラスト」を見て、違いを考える。
- 発語の少ない児童は、教師と一緒に「表情のイラスト」と同じ表情をして、表情や気持ちの違いを確認する。
- 「どんなかお」の動画を見ながら、手遊びをする。
- こくご☆☆P20、21 や「気持ちを考えるためのイラスト」を見て、登場人物の気持ちを想像し、「表情のイラスト」から同じ表情を選んだり、言葉で気持ちを表したりする。
- 友達の好きなところを考えて紙に書き、交換し合う。
- 自分の好きなところを伝えられたときに「うれしい気持ち」になっていることを確認する。
- 「表情のイラスト」を確認しながら様々な気持ちがあることを確認したり、友達の好きなところを書いた紙を読んだ感想を発表したりして、学習を振り返る。



学習の様子



校内掲示

## 実践例7 那須町立高久小学校

教科・科目等 道徳科（5学年 10名）

### 本時の目標

ユニセフ親善大使として活動する黒柳徹子さんの心情を考えることを通じて、他国の人々の生活の様子について理解し、国際親善に努めようとする心情を育てる。

### 育てたい資質・能力等

ネパールやフィリピンの子どもたちの権利が保障されていない現状を知り、子どもの権利条約について理解することができる。（知性）

教材

- ・道徳科教科書（世界に目を向けて ユニセフ親善大使 黒柳徹子）
- ・子どもの権利条約に関する掲示物
- ・ワークシート

### 展開

- 事前に実施したアンケートの結果を振り返る。（「みなさんが考える、国際理解、国際親善とはどのようなことですか。」）
- 教科書の範読を聞き、ネパールの現状を知った黒柳さんがどのような気持ちだったか考える。
- ALTから「フィリピンの貧富の差」についての話を聞く。
- 子どもの権利条約について知る。
- 黒柳さんが、世界の約90%の子どもたちが辛い状況で暮らしていることを知って「ありがたい」と思ったのはなぜかを考える。
- 国際理解、国際親善はどのようなことか考える。
- ALTが考える国際理解、国際親善について話を聞く。



学習の様子

## 実践例8 日光市立大室小学校

教科・科目等 図画工作科（3学年 22名） ※2時間で実施

### 本時の目標

友だちとアイデアを出し合いながら、作ることを楽しむことができる。

### 育てたい資質・能力等

個々の作品から、互いのよさに気づき、尊重し合い、共に考えることができる。（感受性）

教材 ・粘土 ・粘土版 ・ワークシート ・タブレット

### 展開

- 写真を見て、一人一人の作品をつなげて作る「粘土ランド」をイメージする。
- にぎる、ひねる、積み上げる、つなげるなど、粘土のできることを生かして立体的な作品を個人で作る。
- 友達が作った作品のよいところを見つけ、伝え合う。
- グループごとに、一人一人の作品をどのようにつなげていくかアイデアを出し合う。
- 作品を仕上げ、グループごとに作品名を決める。
- 「粘土ランド」を発表する。



児童の作品

### 授業者の感想

- ・一人一人が主役であることを確認することで、友達の作品に共感する姿勢を高めることができた。
- ・友達の作品のよさに気づき、そのよさを生かしてどのように作品をつなげていくかを考える姿が見られた。

## 実践例9 栃木市立栃木第四小学校

教科・科目等 社会科（5学年 37名）

### 本時の目標

被災した地域、人々の生活の様子や産業を復興させてきた様子を調べ、自分の考えを深めることができる。

### 育てたい資質・能力等

被災した地域や人々が、偏見や差別を受けながらも生活や産業を復興させてきたことを考えることができる。（感受性）

### 教材

- ・教科書
- ・資料集
- ・図書資料
- ・NHK for school
- ・東日本大震災に関する資料（産業復興資料集）
- ・文部科学省×学校安全  
（文科省学習作成資料「東日本大震災の教訓を語り継ぐ動画教材」）

### 展開

- 災害の様子だけではなく、地震の被害を受けた原子力発電所の事故により根拠のないうわさや偏見、差別など心ない嫌がらせを受けたことをおさえるようにする。
- 被災した地域、人々の生活の様子や産業を復興させてきた様子を調べる。
- 被災した人々の生活を支える防災や減災の取組、国や県、市などの取組、被災した人々が生活や産業を復興させてきた取組について知る。
- 調べたことをもとに考えたこと（取組に携わった人々の願いなど）をグループ、全体で共有する。



←学習の様子

### 児童の感想

- ・被災した人々は、辛い環境の中でも自分のために、地域のために頑張って街づくりをしてきたことが分かり、心がとても強いと思いました。
- ・震災のおそろしさを感じました。二度と同じ経験をしないように、防災や減災の考え方、取組がとても大切だと学びました。

## 実践例 10 大田原市立大田原小学校

教科・科目等 音楽科（2学年 33名）

### 本時の目標

思いに合った表現をするために必要な反復を用いて、グループで話し合い、お祭りに合った音楽を作ることができる。

### 育てたい資質・能力等

国や地域の音楽の違いを捉えさせ、それらの特性やよさを理解させる。（知性）

### 教材

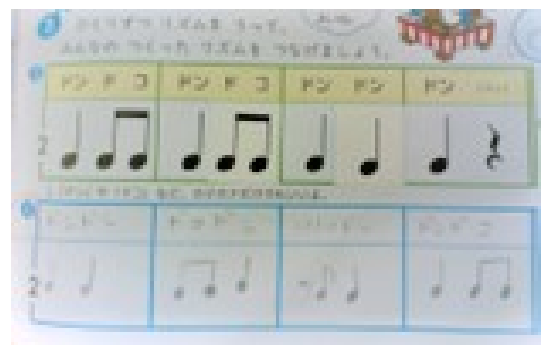
- ・デジタル教科書
- ・和太鼓
- ・7月に鑑賞したお囃子の動画
- ・教科書
- ・ノート

### 展開

- 大田原・城山地区のお囃子に親しんだことを思い出し、特徴を捉える。
- 既習の外国や沖縄の踊りや音楽と、大田原・城山地区のお囃子を比較し、それぞれの特徴やよさを知る。
- 実物の和太鼓を叩いて音色を聞き、イメージをもつ。
- お囃子のリズムを支える太鼓のリズムに着目し、自分のリズムを考える。
- 4人グループで4つのリズムをつなぎ、簡単な音楽をつくる。
- イメージに合う音楽に近づけるため、協力して工夫を重ね、発表する。（かけ声・順番・叩き方等）



←学習の様子



児童が作ったリズム

## 実践例 11 鹿沼市立北中学校

教科・科目等 国語科（特別支援学級2学年 7名）

### 本時の目標

討論に向けて立場を決め、意見と根拠、理由付けを整理することができる。

### 育てたい資質・能力等

「自分とは異なる物事の捉え方や考え方がある」という前提に立ち、異なる考え方のよさに目を向けることで、自らの視野を広げ、考えを深めることができる。（技能）

### 教材

- ・教科書（立場を尊重して話し合おう～討論で視野を広げる～）
- ・ノート
- ・タブレット

### 展開

- 前時の話し合いにより、討論のテーマは「ペットにするなら犬がいいか猫がいいか」に決定したことを確認する。
- 自分とは異なる物事の捉え方や考え方があり、どちらかが正解・不正解とは決められないことを確認する。
- 立場を決めて2つのグループに分かれ、協力して、意見と根拠、理由付けを整理する。
- タブレットを使い、自分達の意見を支える資料を各自で調べる。
- 情報収集の際のルールや危険性について確認する。
- 各自で調べた資料をグループで共有する。
- 発表用のパワーポイントを作成する。



学習の様子

### 授業者の感想

- ・発表が苦手な生徒や、聞き取りを苦手としている生徒も、パワーポイントを用いた発表であれば自信をもって発表したり話を聞いたりすることができていた。

## 実践例 12 宇都宮市立宝木中学校

教科・科目等 社会科・公民分野（3学年 32名）

### 本時の目標

日本の政治参加の現状について理解し、女性の政治参加の現状から今後の政治参加や制度について考察し、表現することができる。

### 育てたい資質・能力等

女性をとりまく政治参加の現状を理解する。（知性）

### 教材

- 教科書 ・ワークシート ・タブレット
- 学習教材「人権の窓」（男女平等編・中学生用）

### 展開

- 「衆議院議員選挙の年代別投票率」「有権者と実際に投票した人の年代別割合」のグラフを提示し、日本の政治参加の現状について確認する。
- 政治参加の現状を踏まえ、政治家の立場からどの世代に向けた政策を立てるかを考える。
- 学習教材「人権の窓」（男女平等編・中学生用）使って、ジェンダー平等や世界の中の日本のジェンダーギャップ指数などについて知る。
- 女性の政治参加を進めるために、どのような行動・制度が必要か調べてまとめる。
- 本時の学習を振り返り、多様な立場からの意見を取り入れられる政治の実現のために必要なことについて記入する。

Q日本のジェンダーギャップ指数にはどんな特徴があるのだろうか。

ジェンダーギャップ指数の各国の順位は、**経済** **政治** **健康** **教育** の4分野の合計点で算出されています。

↑上の項目をクリックしてみましょう。日本におけるそれぞれの分野について詳しく説明しています。

グラフをみるポイントQ  
それぞれの分野の点数をグラフに表し、四角形にすることで、4つの分野の点数のバランスを比べやすくなります。日本とアイスランドのグラフの影やバランスを比べてみましょう。

次へ

経済と政治で大きくジェンダーギャップ指数の差が生まれてしまっている。

Qどのような制度や自分たちの取り組みがあればより多様な意見が政治に取り入れられるのだろうか。

制度

探るポイント  
性的政治参加が進んでいる国と日本の制度を比較しよう。（選挙制度・働きやすい仕組みなど）

アイスランド、ノルウェー  
・国会議員の過半数が女性である。政党による自主的な取り組みと、長年にわたるジェンダー平等の意識の高さが背景にある  
・クオータ制  
社会的・歴史的な背景により不利益を被ってきた集団（特に政治分野における女性など）の参画を促進し、格差を是正するために、議席や候補者、役職などの一定割合をあらかじめ割り当てる制度

自分たちの取り組み

- ・女性だから、男性だからと比べない
- ・女性国会議員に偏見を持たない



学習の様子

## 実践例 13 鹿沼市立北犬飼中学校

教科・科目等 技術家庭科（3学年 27名）

### 本時の目標

高齢者について理解するとともに、よりよい関わり方を工夫できる。

### 育てたい資質・能力等

高齢者がよりよい高齢期を過ごすためにどのような関わりができるか、高齢者の人権の視点から考えることができる。（判断力）

### 教材

- ・教科書
- ・内閣府調査資料「第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」
- ・ワークシート

### 展開

- 高齢者について、知っていることについて意見交換する。また、家族や親戚など身の回りの高齢者と関わったことはあるか確認する。
- 高齢者の身体的特徴には個人差があり、多様で複雑であることを知る。
- 自分はどのような高齢期を過ごしたいかを考える。
- 高齢期も多様であり、生き生きと生活している高齢者を紹介する。（趣味や仕事、生きがいをもち続ける姿、登山を楽しむ姿）
- 高齢者の社会活動への参加状況や日常生活で支援が必要な高齢者の資料から高齢者に関する課題を知る。
- 誰もが幸せに自分らしく生きる権利があることを知る。
- 一人一人の高齢者がよりよい高齢期を過ごすためにはどのような関わりができるか高齢者の人権を踏まえて考える。
- 地域の一員として、高齢者を含めた多くの人との関わりがその生活をより豊かなものにしていくことを理解する。



板書



学習の様子

## 実践例 14 佐野日本大学中等教育学校

教科・科目等 地理歴史科・歴史総合（4学年（高校1年生） 21名）

### 本時の目標

グローバル化する現代世界の中で、自他の文化を尊重し、多様な人々との共生を図ることの重要性を理解する。

### 育てたい資質・能力等

自他の文化や民族性を正しく理解し、多様性を尊重することが重要であることを理解する。（知性）

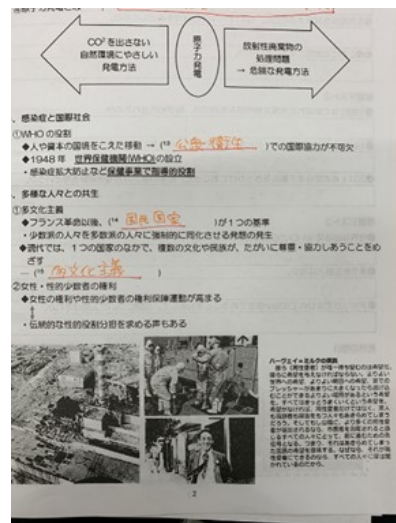
教材 ・教科書 ・ノート ・ワークシート

### 展開

- 前時を振り返り、グローバル化が進展していることを確認する。
- 教科書のグラフを見て、どのような地域で人口が増加しているのか理解する。また、なぜそのような地域で人口が増加しているのかを考察する。
- 世界の穀物の生産量と消費量の特徴を捉えると共に、人口増加のグラフとの関連性を考察する。
- 地球環境問題が起こった原因を理解し、地球環境問題に対しての取り組みやその際に発生している諸課題について知る。
- 現代世界の課題として、多文化主義が目指されている中で、身近な社会で外国人への配慮や文化を尊重している事柄に関して、グループで話し合う。
- 女性の権利獲得の過程を、教科書P114・115を見て確認する。
- ハーヴェイ=ミルクの訴えを理解すると共に、当時の時代背景と現代を比較させる。



学習の様子



ワークシート

## 実践例 15 県立佐野松桜高等学校

教科・科目等 LHR（3学年 27名）

### 本時の目標

自分たちのもつ権利を知り、互いを尊重し合う人間関係を構築しようとする態度を身に付ける。

### 育てたい資質・能力等

自他の境界を考え、互いを尊重することができる。（技能）

### 教材

- ・ワークシート（「ゲシュタルトの祈り」）
- ・R4人権の窓（子どもの権利）：子どもの権利として認められているものは？

### 展開

- これまでの人間関係を振り返り、それぞれの場面について考える。
  - ①自分が相手にしてほしかったこと
  - ②相手は自分にどうしてほしかったのか（予想）
  - ③トラブルになる前にどうすればよかったのか、どんなことができたか
- 精神科医パールズの詩「ゲシュタルトの祈り」を読み、「私は私、あなたはあなた」「でも、」の一文の意味について考え、5～6人のグループで共有する。
- 自分たちがもつ権利について、グループで相談しながら自分たちがもつ権利を考えて書き出す。
- 学習教材「人権の窓」（子どもの権利）を使って、自分たちがもつ権利について確認する。
- どのような行為が他者の権利を侵害するかを考える。
- 今後の人間関係において気を付けたいこと、できそうなことを書く。

#### 子どもの権利として認められているものはどれでしょう？

次の1～5の中から子どもの権利として認められているものを選びましょう。

- 1 いじめ・体罰・虐待から守られるための権利があるので、困っていることを相談した。
- 2 遊ぶ権利があるので、校庭の道具を独占した。
- 3 健康的な生活を送る権利があるので、体調が悪いとき学校を休んだ。
- 4 自分の思ったことを表現する権利があるので、嫌いな人の悪口を言いふらした。
- 5 仲間をつくる権利があるので、苦手な人を入れずにグループをつくった。



学習教材「人権の窓」  
（子どもの権利）

学習の様子





## 実践例 17 県立足利工業高等学校

教科・科目等 工業・工業情報数理（1学年 32名）

### 本時の目標

SNS への不適切な写真の投稿の問題点とその後の影響について考えることを通じて、インターネット上に情報を発信する際の責任を理解し、インターネットを適切に活用する態度を養う。

### 育てたい資質・能力等

相手とのやりとりの中で発生する問題について考え、インターネット上に情報を発信する際の責任を理解することができる。（知性）

教材 ・教科書 ・ワークシート ・タブレット

### 展開

- SNS の利用状況、写真の投稿経験、SNS に関係するトラブルに関して知っていること等について事前に実施したアンケートの結果をグラフで確認し、SNS の使い方について考える。
- 職場体験活動で、アルバイトの大学生がインターネット上に不適切な投稿をした動画を見て、どのような問題があったかを考える。
- アルバイトの大学生と周りの人に起きる問題を考える。
- 動画の解説編を見て、インターネットの特性をよく理解した上で適切に活用することを考える。
- インターネットのどのような特性によって、アルバイトの大学生の投稿が広まったのかを考える。
- インターネット上への発信や写真を投稿するときは、どのようなことに気を付けたらよいのかを考える。



授業の様子

インターネットに関するアンケート

年 組 番 名前

- あなたは、自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っていますか、どちらかに○を付けてください。  
( ) 持っている ( ) 持っていない
- SNS を使ったことがありますか、どちらかに○を付けてください。  
( ) 使っている ( ) 使っていない
- SNS に知らない電話番号で写真が投稿されたことはありますか、どちらかに○を付けてください。  
( ) ある ( ) ない
- SNS に写真を載せたトラブルについて、どのようなことを知っていますか。
- SNS はどのような点が便利だと思いますか。
- SNS の投稿で、気を付けていること、気を付けた方がよいと思うことはありますか。

インターネット利用に関するアンケート

経は学みな SNS への投稿

年 組 番 名前

課題

- 大学からの学友さんのどのような行動が問題だったか、書き出してください。
- かきさんと周りの人は、今後どうなってしまうでしょうか。  
【かきさん】  
  
【周りの人】
- インターネットのどのような特性によって、かきさんの投稿が広まったのでしょうか。  
( )  
( )
- インターネットに投稿するときに、これから自分が気を付けることをまとめましょう。

ワークシート

## 実践例 18 益子町立益子小学校

教科・科目等 社会科（6学年 32名）

### 本時の目標

藩校や寺子屋において、子どもの教育がさかんに行われたことが江戸時代の町人文化を栄えさせ、新しい学問が起こったことにつながることを理解することができる。

### 育てたい資質・能力等

寺子屋と藩校と比較し、江戸時代の教育に男女格差が存在していたことを知る。（知性）  
江戸時代の寺子屋には、女性も通うことができ、教育を受けることができたことを知る。（知性）

教材 ・初代歌川豊国「寺子屋書初」 国立国会図書館デジタルコレクション

### 展開

- 識字率の意味を知り、現代日本ではほぼ100%であることを知る。
- 江戸時代後期の江戸の識字率を予想し、70%程度であることを知る。
- 町人の子どもが通う寺子屋の存在を知り、寺子屋には女の子も通うことができたかについて考える。
- 提示された寺子屋の資料から、寺子屋では女性の先生も存在し、女の子も通っていたことを読み取る。
- 寺子屋や藩校での学習により識字率が高まり、江戸時代の発展につながったことを理解する。



### 活用した学習教材

初代歌川豊国「寺子屋書初」  
（国立国会図書館  
デジタルコレクション）

### 児童の感想

江戸時代の子どもたちは身分で行く場所はちがうけれど、どちらも学校、ほい場所に行っていたことが分かった。自分は、身分が高い女性は学んで、低い女性は学んでいなかったと思っていたけれど、その逆で、低い女性は学んでいて高い人たちは男性が重んじられていて、おどろいた。アールや給食も江戸時代からあったことが分かった。

女性は昔差別がひどいといふことしかしなくて、文字の書き読みもできないし、ないかと思っていたけれど、江戸の識字率は70%と高く、さらに女性が先生として、文字の書き読みができるようになって、びっくりと同時に良かった、という気持ちもあった。